

校長室の窓から

県立高校Ⅱ期選抜全員合格にむけて
～わからないところは誰にでも訊く～

6日に福島県立高校Ⅰ期選抜の内定発表がありました。本校からは75名が受験し38名が内定を得ることができました。内定数は昨年度と同じですが受験数は多くなりました。各高校の倍率も昨年より高くなったところが多く、厳しい結果でした。Ⅰ期選抜以前には、私立高校の推薦入試や併願入試があり、120名近くの生徒が合格を手にしていますが、多くの生徒が県立高校Ⅱ期選抜に臨みます。

Ⅱ期選抜を受験する生徒の中にはⅡ期選抜のみの生徒がいますが、中にはⅠ期や私立受験で思いような結果が得られなかった生徒もいます。

高校入試はこれからが正念場です。勉強にける時間はまだあります。勝負は3月8日です。これから、1日6時間の学校での学習に加えて、家庭でも6時間の勉強は可能です。満点をねらう必要はありません。自分の目標とする点数のために、自分はどの教科のどの部分をできるようにすればよいのか考えて、必死で頑張ってください。わからないところは担当でなくても構いません。近くにいたる教員に聞いて、わかるようにすることが必要です。尻込みしないで頑張ってください。

頑張り通した事実のみが、試験当日の迷いやあせりの克服につながります。試験当日はあれこれ参考書やテキストではなく、自分が取り組んだ足跡のノートに、何を繰り返しましたのかを記したものを持参し最後の確認をさせてほしいと思います。保護者の皆さまにはお子さんが全力で取り

組めるようご支援よろしく
お願いします。



県立高校再編計画の発表
農業系は修明高に、工業系は実業高に

2月9日の新聞に県立高校再編計画が発表されました。県教委による統合などの具体的な再編の内容を明らかにしました。

それによると、県南地区では、「2023年度に白実高に塙工高の工業科を集約し工業科を5学級にし、修明高に農業科1学級を増設する。修明の文理科と商業科、白実高の商業科は存続する。2020年度に修明高鮫川校は募集停止」となっています。その後も「中学校卒業見込み者数や生徒の志願状況からさらに再編が検討される」とあります。次年度から始まる県立高校入試の新制度とともに、これまでとは異なる選択や判断をしなければならないものと思います。

次年度からはⅠ期選抜はありません。県立高校を志願する生徒は全員が学力試験を受けなければなりません。それも大きな変革です。部活動の実績をアピールするだけで、学習面の成果を示せないのでは望む結果は得られません。学習は日々の地道な取り組みからしか成果を生まれません。そのためには、自分の生活時間の調整がとても重要になると思います。

37℃以上の発熱のときは自宅で休養
させてください

本校のインフルエンザの罹患状況はホームページやメールシステムでお知らせしています。今週も新たな罹患患者が見られ、感染拡大が心配されます。

つきましては、学校での感染リスクを減らすために、体調が優れないときや家族が罹患した場合には、必ず朝検温して37℃以下であることを確認し登校させるようお願いいたします。37℃以上のときは自宅での休養ならびに医師の受診をお願いいたします。